

雌阿寒岳

1 平成 15 年の活動概況

1 月 1 日に規模の小さな火山性微動が発生しました。地震活動はやや活発な状態が継続しており、一時的な地震の増減を繰り返しています。ポンマチネシリ 96-1 火口は、2000 年以降噴煙活動がやや弱い状態となりましたが、火口温度は 400 前後と高温状態が続いています。

○平成 15 年の主な火山活動、その他関連する業務概要等

時期	火山活動及び業務概要
1 月 1 日	[火山活動] 規模の小さな火山性微動（継続時間約 1 分）が発生、その前後で一時的に火山性地震が増加
4 月	火山性地震増加（月回数 375 回）
10 月	火山性地震増加（月回数 352 回）
	[その他]
4 月 24 日	上空からの観測実施（北海道の協力による）
6 月 6 日	上空からの観測実施（北海道開発局の協力による）
6 月 9 日	ポンマチ南西に地震計設置
7 月 12～20 日	調査観測実施
9 月 27～10 月 3 日	調査観測実施

○火山情報の発表状況

火山情報の発表はありません。

2 噴煙活動の状況

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動は 2000 年以降やや弱い状態が続いており、噴煙高度は概ね 100～200m で経過しました。

3 地震活動の状況

地震活動はやや活発な状態が続き、一時的な地震の増減を繰り返しています。1 か月あたりの地震回数は、2 月、11 月、12 月を除いて 100 回以上となり、特に 4 月、10 月は 300 回以上とやや地震活動が活発となりました。震源はほとんどがポンマチネシリ火口浅部と推定されます。また、1 月 1 日に規模の小さな火山性微動が発生し（2002 年 3 月 29 日以来）その前後で一時的に地震が増加しました。

月別地震・微動回数（B 点）

2003 年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
地震回数	204	83	223	375	163	155	113	195	156	352	19	12
微動回数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

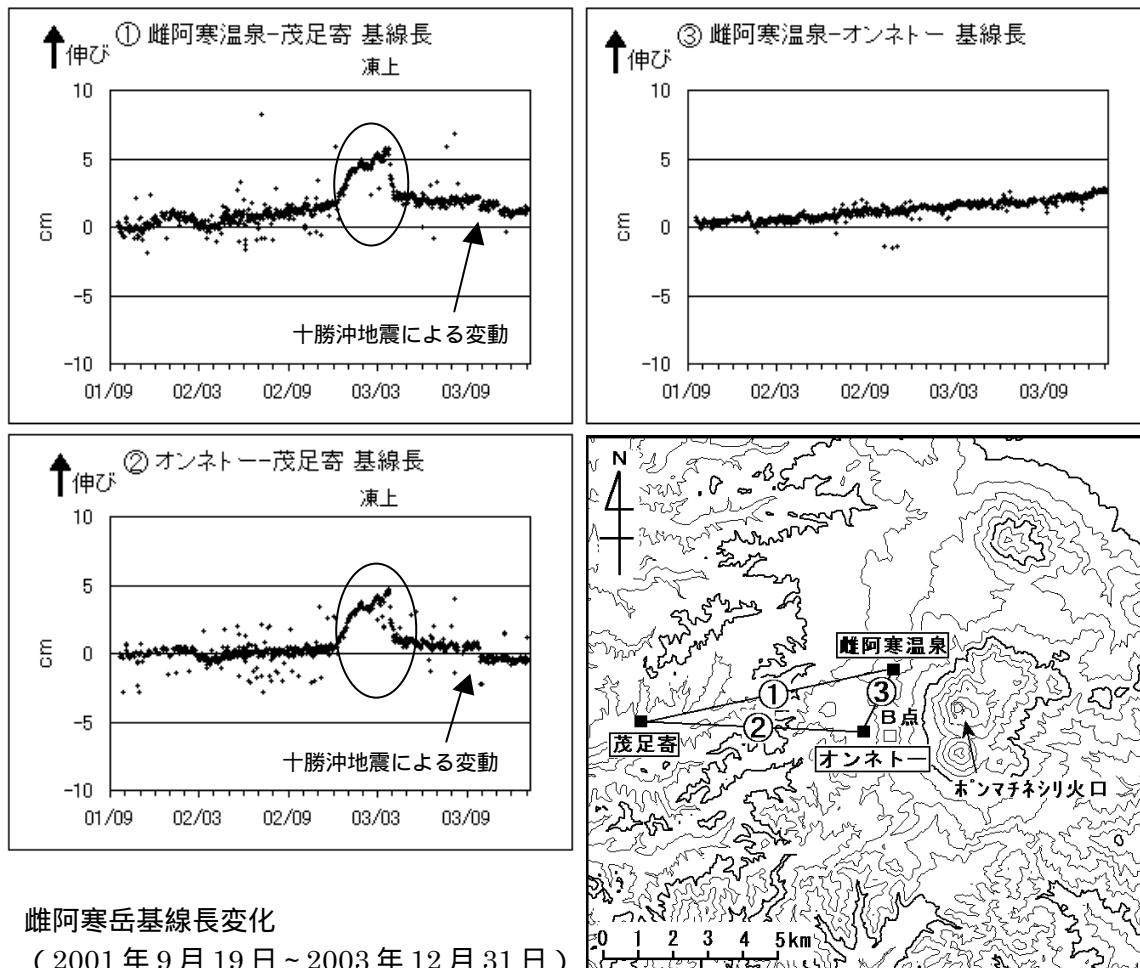
GPS 観測では西側山麓でやや伸びの傾向が続いていますが、火山活動との関連については今後の推移を見て判断する必要があります。

5 調査観測の結果

7 月及び 10 月に実施した調査観測では、ポンマチネシリ 96-1 火口の火口温度は、いずれも 400 前後と高温状態が続いています。その他の火口でも大きな変化は見られませんでした。

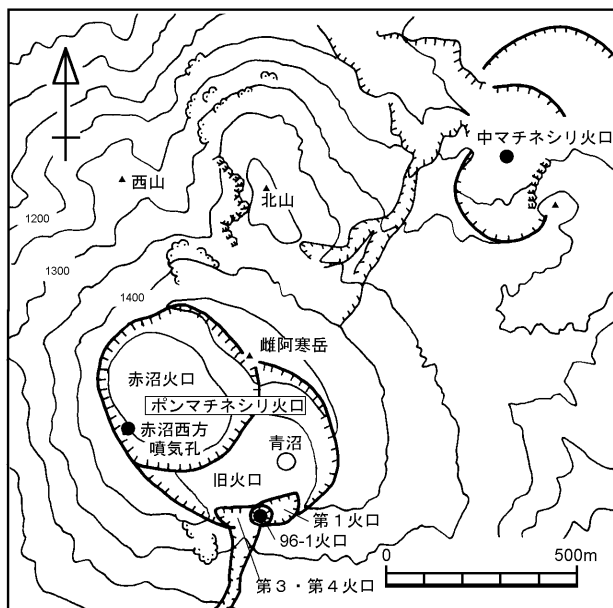
6 上空からの観測結果

北海道、北海道開発局の協力により、4月24日、6月6日にそれぞれ上空からの観測を実施しました。各火口の噴煙は平常時と比べて特段の変化はなく、熱異常域の拡大や新たな高温部は認められませんでした。

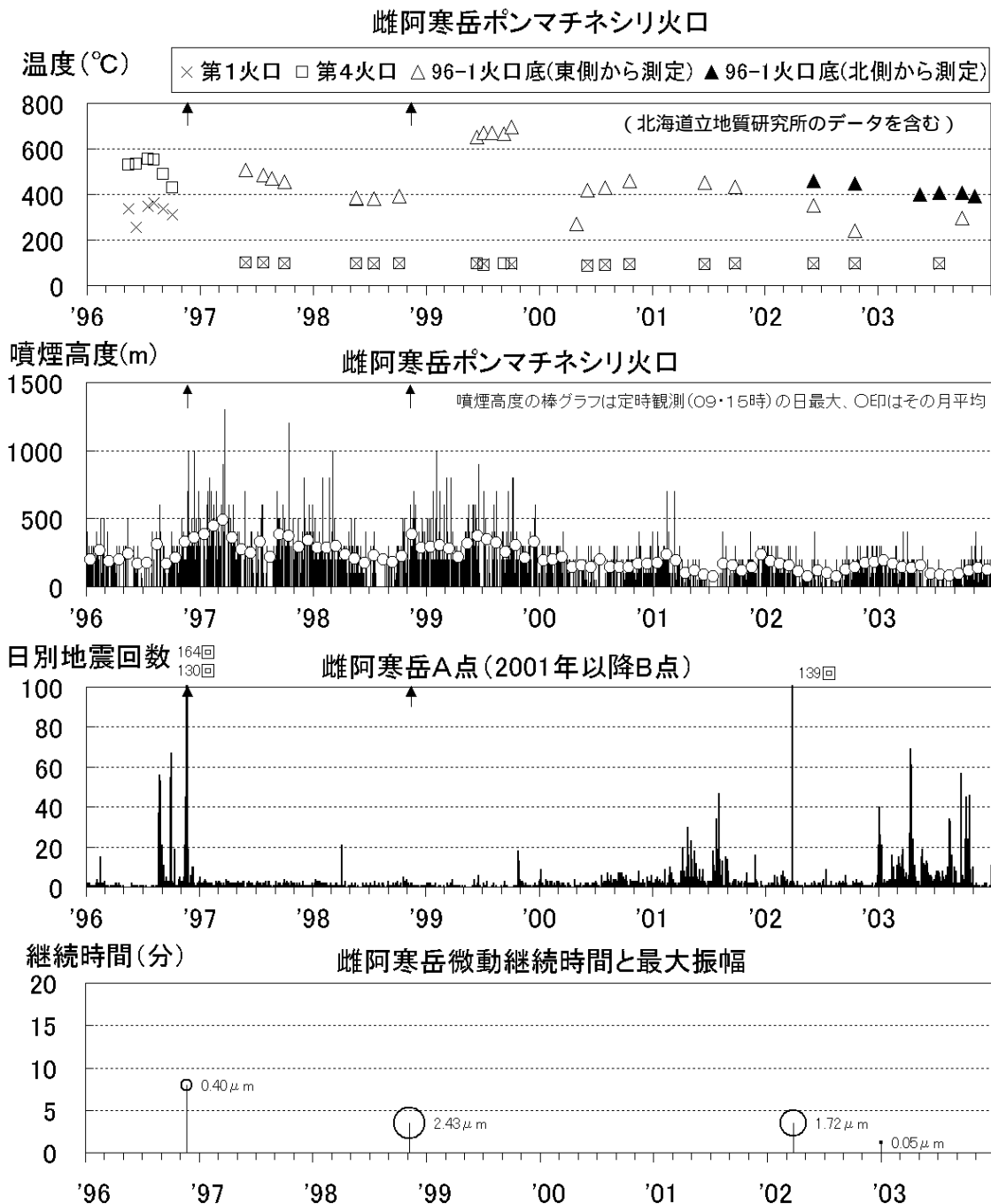


雌阿寒岳基線長変化

(2001年9月19日～2003年12月31日)

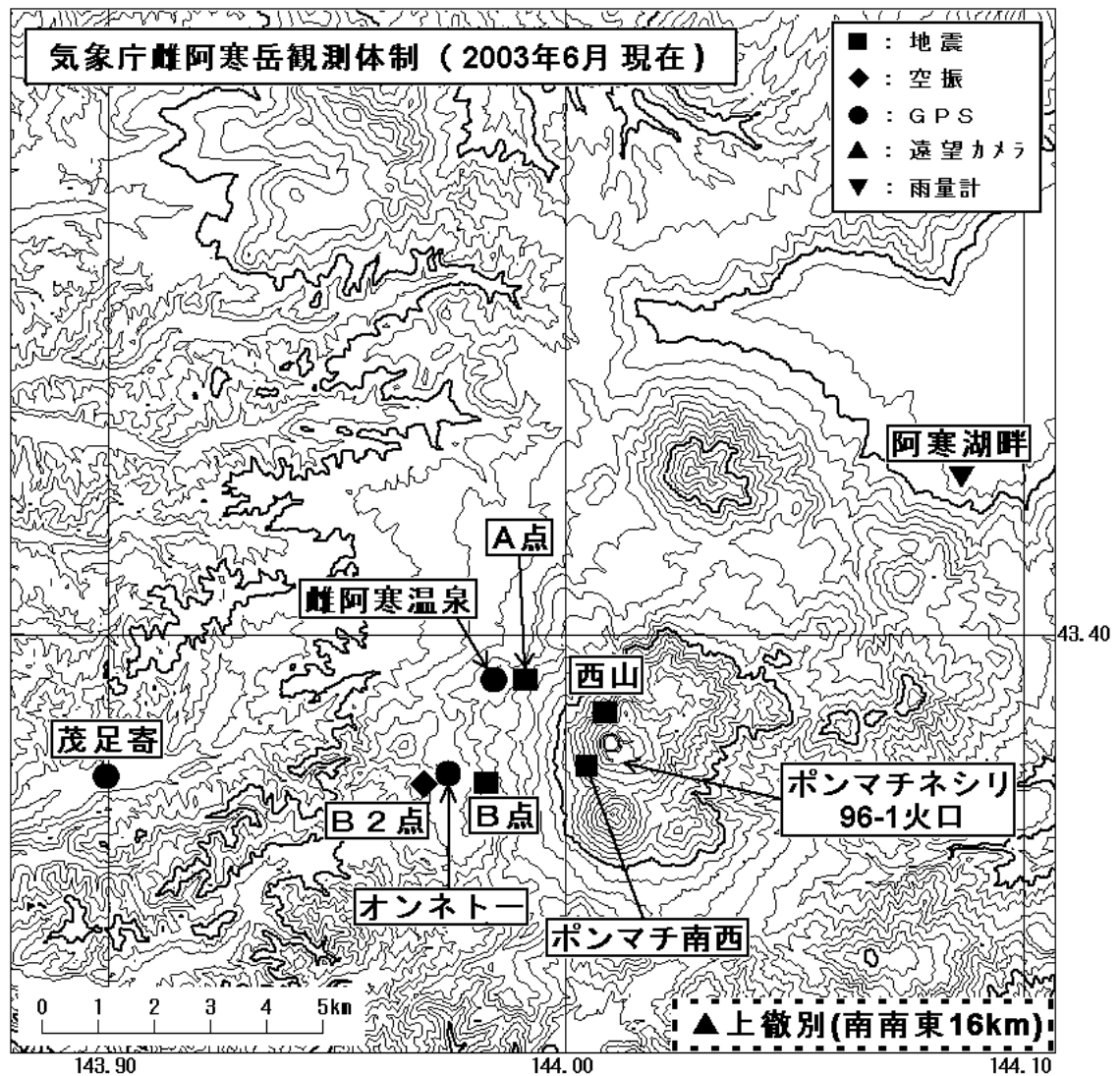


雌阿寒岳火口周辺図



雌阿寒岳火山活動経過図（日別、1996年1月1日～2003年12月31日）↑印は噴火

観測点情報



観測点一覧表 雌阿寒岳

記号	測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始 年月
			緯度(度分)	経度(度分)	標高(m)		
■	地震計	A点	43 23.6	143 59.4	740	0	1981年1月
		B点	43 22.6	143 58.9	680	-1	2000年11月
		西山	43 23.3	144 00.5	1275	0	2001年11月
		ポンマチ南西	43 22.8	144 00.3	1265	0	2003年6月
	空振計	B 2点	43 22.7	143 58.6	636	2	2000年11月
▲	遠望カメラ	上徹別	43 15.6	144 07.0	145	4	1996年4月
●	GPS	オンネトー	43 22.7	143 58.6	653	8	2001年9月
		茂足寄	43 22.7	143 53.9	354	3	2001年9月
		雌阿寒温泉	43 23.5	143 59.2	719	4	2001年9月

（位置は日本測地系の値です）